

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年3月18日

公表: 令和3年3月30日

事業所名 いわさき・こどもデイサービス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		・新型コロナウイルスの感染予防で行事の実施方法や入室制限をおこないました。	
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		・なるべく、こども2人に対して職員を1名配置できるように心がけています。	・法律で決められた職員数は配置していますが、出勤状況によっては不足を感じることもあります。業務内容の見直しや職員の増員も検討します。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		・見通しを持って自主的に行えるような環境を整えています。 ・お子さんの成長や発達に合わせて随時変更しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		・登園前、降園後に毎日掃除をしています。 ・多くの人の手が触れる場所（ドアノブ、机、椅子など）の消毒も行っています。 ・教室には加湿器、空気清浄機を設置するとともに、二酸化炭素濃度計も設置し、換気を意識的に実施しています。	<検討結果> ・玄関のホコリ等が目立つ時がありました。毎日掃除をしていますが、普段から全員で気かけられるよう共有し、朝以外の時間でも気がついた職員で掃除をするように再確認をしました。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		・毎朝、夕の打ち合わせで共有しています。	<検討結果> ・参加できない職員に情報伝達をしているものの、タイムリーな共有が難しい状況です。会議等で決まったことは、会議メモを写真に撮り、すぐに共有できるように試行、改善します。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		・評価のタイミングにより、年度内で改善できるものは速やかに改善するように心掛けています。	<検討結果> ・降園時、玄関付近が密になりやすい状況について検討し、混雑しそうなときは職員が扉の外で立ち入りのコントロールをするように、職員間で共有しました。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		・現在は外部評価は受けていませんが、今後、検討してまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		・新型コロナウイルス感染症の流行から、オンライン研修に参加しました。	・オンライン研修に使う機材の操作が苦手な職員も参加できるように工夫、改善したいと考えています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		・法人内の心理担当職員による発達検査の結果を参考に個別支援計画を立案しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		・保護者の許可を得たうえで、直前に通っていた園から情報提供をうけ、その内容も部分的に個別支援計画に反映しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		・朝の打ち合わせで内容やねらいを確認、共有しています。	<検討結果> ・朝の検討では、準備が十分でない時がありました。そのため、週の初めに1週間分の活動を確認する時間を設けるように試行し、改善します。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		・1か月単位で、重なることのないよう活動プログラムを立てています。	<検討結果> ・計画を立てていますが、クラスの事情で変更となることも多くありました。月の予定を立てるタイミングを少し早くし、各クラス職員と相談のうえ内容を確定させるよう流れを変更します。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		・毎朝のミーティングで情報共有しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		・全員参加できない時もあるが、振り返りをして翌日の支援につなげています。	<検討事項> ・自分のクラスだけでなく、全体のお子さんの様子を共有するために、振り返りや情報共有の方法を変更し、毎日各日に実施できる方法を試行します。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		・重点的に関わるお子さんを定期的に変更し、クラス全体でお子さんの課題と支援方法の検証を確認、共有しています。	<検討事項> ・自分のクラスだけでなく、全体のお子さんの様子を共有するために、記録の記入時間を変更し、毎日各日に実施できる方法を試行します。	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・必ず児童発達管理責任者が参加していますが、可能であれば担当スタッフも参加できるようにしたいと考えています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—			・現在、利用中のお子さんに対象となる方はいませんが、利用の希望あった場合には関係機関と連絡を取り、可能な支援を提供できるよう検討します。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—			・現在、利用中のお子さんに対象となる方はいませんが、利用の希望あった場合には関係機関と連絡を取り、可能な支援を提供できるよう検討します。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				・引継ぎだけでなく、必要に応じて保育園等を訪問し、保護者と園側の不安解消に努めています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				・書面だけでなく、訪問して引継ぎや情報共有を実施しています。 ・特別支援学級に就学したお子さんのフォローアップが課題です。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			・事業所全体の行事としては実施していませんが、子どもの適正に合わせて園庭解放等への参加を個別に助言を今後も継続します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○				
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				・連絡帳だけでなく、送迎時や申し出により時間を取るなど随時、情報共有に努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○				・ペアレント・トレーニングは実施していませんが、定期的に茶話会を実施し家族支援を実施しています。 ・ペアレント・トレーニングを取り入れる方法で計画しています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				・保護者会等で丁寧に説明し、自宅での様子も確認しながら同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				・定期だけでなく、必要に応じて丁寧に相談に応じて助言しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○				・茶話会や親子行事等で支援しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				・保護者からの相談を受けた場合、他の職員とも共有し速やかに対応するよう心掛けています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				・定期的におたよりを発行し、行事予定や情報を発信しています。年間予定も発行しています。 ・茶話会では、活動の様子を動画撮影し、保護者に見ていただいています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○				・入園時に書面で確認し、必要な場合にはその都度再確認しています。 ・記録等の保管場所は施錠しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			・活動で散歩をする際には、挨拶等で地域住民と円満な関係を築けるよう心掛けています。 ・契約終了したお子さん向けのイベントでは、オンラインを活用する、時間を短縮する等の工夫で、予定通り開催することができました。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○				・新型コロナウイルスの対策等を組み込んだ、感染症マニュアルを再考し、改訂を行います。その他、不十分なマニュアルは随時改訂、整備します。 ・緊急時を想定し、BCP計画(事業継計画)の策定を進めます。

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・火災、地震の訓練は行っていますが、不審者等、様々な場面を想定した訓練を実施するようにしたいです。 ・なるべく1か月に1回の訓練実施を目指します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・保護者、管理者、栄養士の3者でチェックしています。 ・毎朝の打合せで、給食のアレルギー食材を確認し全員で確認ができる体制をとっています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・気づいたときにすぐ記入できるよう、各教室に様式を設置しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・毎月、自己チェックを実施し、自分の言動を振り返る機会を設けています。	・自己チェック結果は、虐待防止委員会で分析しフィードバックできる体制を整えます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		・現在、対象となる児童がいないため個別支援計画には記載していません。必要時には、保護者に説明のうえ、個別支援計画に記載するなど適切に対応します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。